自我作古

大津市立瀬田南小学校
学校便り 10 月①号
児童数　７４４名
令和５年９月２９日発行
http://www.otsu.ed.jp/setm/

校訓「自我作古」： 自らの道を自らの力で切り拓き、新しい歴史を作り上げていこう！
学校教育目標 ： やさしく、かしこく、たくましく 力一杯生きぬく児童の育成

ひんやりとした秋気が心地よい季節となりました。保護者の皆様、そして地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

近頃は、まだ油断ならないとは言え、９月中旬までのように熱中症に警戒しなければならない日は随分減りました。そういったことから、瀬田南小学校の子どもたちは来る１０月２０日（予備日１０月２４日）の体育発表会に向けての練習に取り組み始めているところです。

先述のように熱中症への警戒はやや緩和されましたが、やはり、新型コロナウィルス感染症や、以前では考えられなかったような季節に流行しているインフルエンザ、そして、昨今メディアで取り上げられつつある流行性角結膜炎（はやりめ）などの感染症が心配されます。学校でも手洗い等できる限りの指導は行いますが、保護者の皆様におかれましてもお子様の体調管理にご協力ください。併せまして、着替え、汗ふきタオル等の準備などもよろしくお願いします。

授業力アップ

全ての学級担任と子どもたちにとって学校生活の大半は授業です。今年度も前年度に引き続き、各学級を担任する教員全員が必ず一度は授業を公開しようという『一人一授業』の取り組みが始まっています。参観者は感想や助言を文字にして授業者に手渡します。また、こういった公開授業の中でも特に『研究授業』といって授業参観を行った教員と授業を行った教員が、授業後（特に放課後の時間を利用して）授業研究会を行うこともあります。ここでは、子どもたちに、もっとわかりやすいように、もっと学習活動を楽しむことができるように、もっと学習が広がったり深まったりするように等、様々な観点から意見交流を行います。

下の写真はそんな公開授業や研究授業の様子です。

教室の後ろに立っている大人が参観者です

参観者は授業者の一挙一動、一言一句に集中します

２年生の授業ですが全員タブレットを使っています